

B-38

あなたのうしろに地衣類が

わたし　　み　　い　　もの
私たちの身のまわりには、いろいろな生き物があります。
みちか　　い　　もの　　はな　　き　　むし　　そうぞう　　おお
身近にいる生き物というと、花や木、虫などを想像するが多いことでしょう。しか
じっさい　　まいにち　　み　　い　　もの　　こと　　し
し、実際には、毎日のように見ているのに、それが生き物だという事さえ知られてい
い　　もの　　じつ
ないような生き物が、実はそこにいます。

ちいるい　　い　　もの　　かれ　　きんるい　　そうるい　　べつ　　い　　もの
地衣類という生き物があります。彼らは菌類と藻類という、まったく別の生き物が
いっしょ　　く　　すがた　　み　　めじょう　　い　　もの　　み
一緒に暮らしている姿なのですが、見た目上はひとつの生き物にしか見えません。
せいぶつがく　　ことば　　きんるい　　そうるい　　きょうせいせいぶつ　　ひょうげん
これを生物学の言葉では、「菌類と藻類との共生生物」というふうに表現します。
そうるい　　きんるい　　たい　　こうごうせい　　つく　　えいようぶん　　きんるい　　わ　　あた　　か
藻類は菌類に対して、光合成によって作った栄養分を菌類に分け与え、その代
きんるい　　じぶん　　からだ　　そうるい　　とくべつ　　かたち　　つく　　か
わりに菌類は、自分の体を藻類のすみかとして特別な形に作り変えています。
にんげん　　たと　　そうるい　　す　　こ　　しょくじがかり　　きんるい　　かんりにん
人間で例えるなら、藻類は住み込みの食事係、菌類はアパートの管理人のような関
係です。

かれ　　そと　　えいようぶん　　ひつよう　　くうきちゆう
このおかげで、彼らは外からの栄養分をほとんど必要とせず、空気中のわずかな
すいぶん　　じゅうぶん　　にっこう　　い　　からだ
水分と、十分な日光さえあれば生きながらえることができます。たとえ体がカラカ
かわ　　けっ　　し　　なつ　　たいよう　　ねっ　　あつ　　いわ
ラに乾いてしまっても決して死んでしまうことはなく、夏の太陽で熱せられた熱い岩
ひょうめん　　ひょうてんか　　さむ　　た　　じょうぶ　　からだ　　も　　すうせんねん
の表面や氷点下の寒さに耐えることができる丈夫な体を持ち、ときに数千年もの
じかん　　おな　　ところ　　ちゃくじつ　　い　　つづ
時間を同じ所にとどまり、ゆっくりと、しかし着実にそこで生き続けています。

きび　　かんきょう　　い　　ちから　　も　　ちいるい　　ちいるい
このように、厳しい環境でも生きぬく力を持つ地衣類ですが、地衣類はじつにあ
い　　もの　　まちなか　　やま　　うえ　　ところ　　ちいるい　　く
りふれた生き物です。街中から山の上まであらゆる所に、ひっそりと地衣類は暮ら
しています。

ひょうめん　　いろ　　なに
コンクリートの表面にこびりついている、オレンジ色の何やらよくわからない
きみょう　　やねがわら　　いしがき　　は　　つ　　しょうたいふめい
奇妙なシミや、屋根瓦や石垣に張り付いているこれまた正体不明のコケのようなキノ
なぞ　　ぶつたい　　き　　と
コのような謎の物体を見たことがあるでしょう。ほとんどの人はそれらを気に止める
とお　　ちいるい
ことなく通りすぎてしまうかもしれませんが、まさにそれらが地衣類です。
いっけん　　じ　　み　　み　　ちいるい　　せかい　　のぞ　　おも
一見、地味でばつとしないように見える地衣類の世界を覗いてみれば、そこには思
せかい　　ひろ
いもよらない世界が広がっていることでしょう。